



ノロウイルスは乳幼児から高齢者に至る広い年齢層で急性胃腸炎を引き起こすウイルスです。

この感染症は11月から3月の主に冬季に多発します。ノロウイルス

特有な特徴は以下ようになります。

下痢だけではなく、嘔吐が多い

消毒薬に強く感染力が強い

一度かかっても何度も感染することがある



©fumira

潜伏期間（感染から発症までの時間）は24～48時間で、主症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛であり、発熱は軽度（37～38℃くらい）です。

症状は通常であれば1～2日ほど続いた後、治癒します。ただし、免疫力の低下した老人や乳幼児では長引くことがあり、激しい嘔吐や下痢による脱水症状に気をつける必要があります。

ノロウイルスには有効な抗ウイルス剤はなく、通常、対症療法が行われます。脱水症状がひどい場合には水分の損失を防ぐために病院で輸液を行うなどの治療が必要になります。

患者の便や吐物には大量のウイルスが排出されますので、予防のためにも次のことをしっかりと守りましょう。

タオルなど共用で使用するものを避けることも必要です。

食事の前やトイレの後などには、せっけんを使いしっかりと手を洗いましょう。

下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。



食品中のウイルスは加熱により感染性をなくすことができます。食品の中心温度が85℃1分以上になるようにしっかりと熱を通して食べましょう。

便や吐物の処理をする時は素手で触らず、必ずビニール手袋を使用しましょう。汚物の消毒は市販の塩素系消毒剤（漂白剤）を希釈したものを使用してください。

